

妹へ

…ごめんなさい。

私の二者面談の時、先生が嫌いな先生で、  
話が大好きな先生で、絶対時間を守らない  
ので、イラッとしていて、その先生から逃げたため、  
「あ、妹の公文の迎えがあるのもう話は終わり  
で、よろしいですか？」(ニコリ

と言いました。本当はその日、公文の日じゃなかったし、  
いつも迎えに行くのは母親なのに、あたかも  
私の当番のように嘘ついてごめんなさい。

… しい姉でなくて

ごめんなさい……